

現在1年生の総合実習ではキタヤマスギの剪定を行っています。

前回の実習のなかでは、剪定ばさみや剪定のこぎりの使い方を学び、ひこばえ・胴吹きと呼ばれる基本的に剪定すべき枝(忌み枝)を剪定しました。

今回はその学びを活かしながらの剪定です(´-´)ノ

さて、今回剪定を行ったキタヤマスギとは、ヒノキ科スギ属の常緑針葉高木「スギ(杉)」の1変種で、特徴的な仕立て方から台杉(仕立て)とも呼ばれています。

もともと林業で使われた仕立て方で、効率よく丸太を生産するために用いられた手法ですが、その特徴的な樹形が好まれ日本庭園でも利用されてきました。



👉 忌み枝の剪定



「難しいー!!」という声も聞こえましたが、時間の経過とともに慣れてきたのか目標とする樹形に剪定することができました(´・ω・)

この学びが今後の実習に活かされていくと良いですね♪